

亀卵記録について

亀崎 直樹・谷口 真理

654-0049 神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

On the Kirankiroku (Fresh Water Turtle Nesting Database)

By Naoki KAMEZAKI and Mari TANIGUCHI

Kobe-Suma aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, 654-0049, Japan

生物多様性の重要性が認識され、多くの生物の生態学の研究が保全を念頭に進められている。生物の保全を考える上で、その種の繁殖に関する知見を蓄積することは重要である。淡水ガメにおいてはまず、産卵期、いつ卵を産むのか、ということが知りたいのだが、イシガメ、クサガメ、スッポン、アカミミガメのどの種に関しても産卵期を論じた体系的な文献は少ない。淡水ガメに対して、アカウミガメの産卵に関しては多くの地域で詳細に調べられている。毎年の産卵回数は20年間以上もモニタリングされているところもある。20年前には日本のどの地域が産卵場所の中心となっているかさえ明らかではなかったが、各地で活動をする多くの方々の努力により、近年ではアカウミガメの産卵は本州では5月下旬から8月上旬に行われ、産卵場所は南日本に集中することが明らかとなってきた。ここで注目していただきたいことは、これらのことを明らかにしたのは、研究者ではなく、そこに住む市民らである。つまり、日本に産するアカウミガメの繁殖について明らかにしたのは、市民なのである。

淡水ガメの産卵は、ウミガメが砂浜でしか産卵しないのに比べ、どこで産卵するのかさえ分からない。実に調べにくいのは確かである。我々はウミガメの事例を淡水ガメでも応用したいと考えている。次ページに淡水ガメの産卵記録用紙を載せた。断片的な情報でも構わないので、各地の淡水ガメの生物学的な情報を、特に産卵に関する情報をお寄せいただきたい。



産卵中のミシシッピアカミミガメと産下された卵
神戸市立須磨海浜水族園 亀楽園にて